

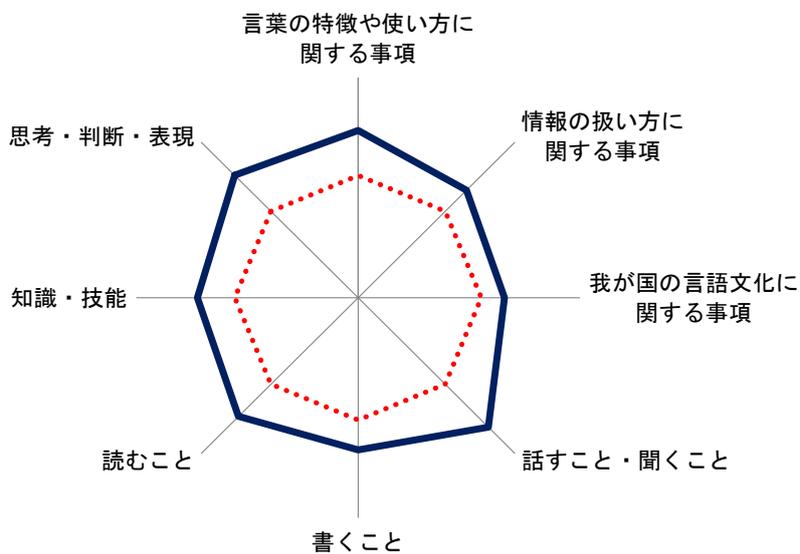
令和4年度 全国学力・学習状況調査
(各教科観点別等の状況) 結果

宇和島南中等教育学校

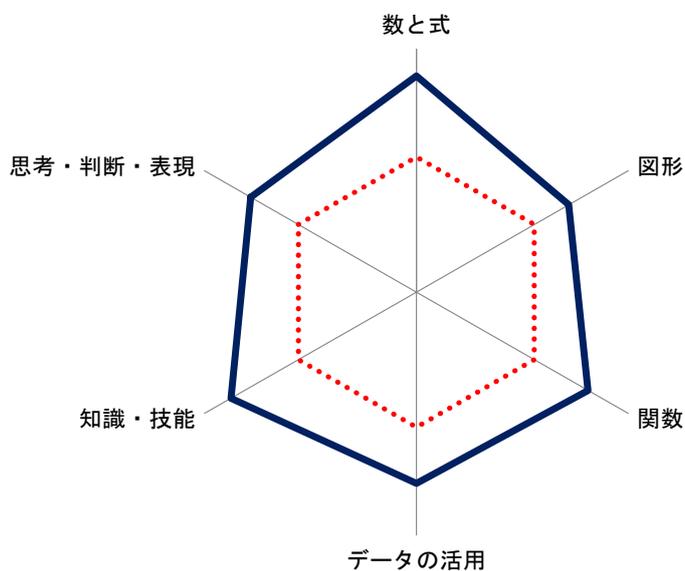
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 宇和島南中等
..... 全国平均



【数学】



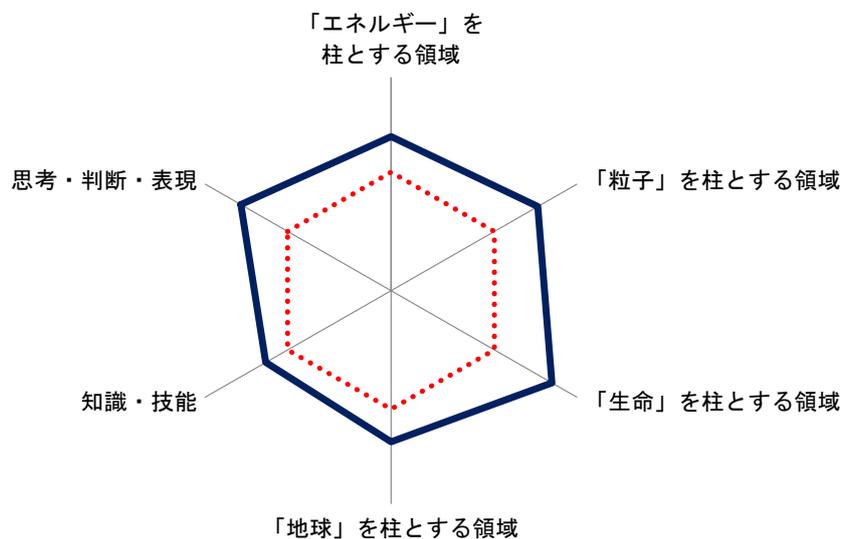
令和4年度 全国学力・学習状況調査
(各教科観点別等の状況) 結果

宇和島南中等教育学校

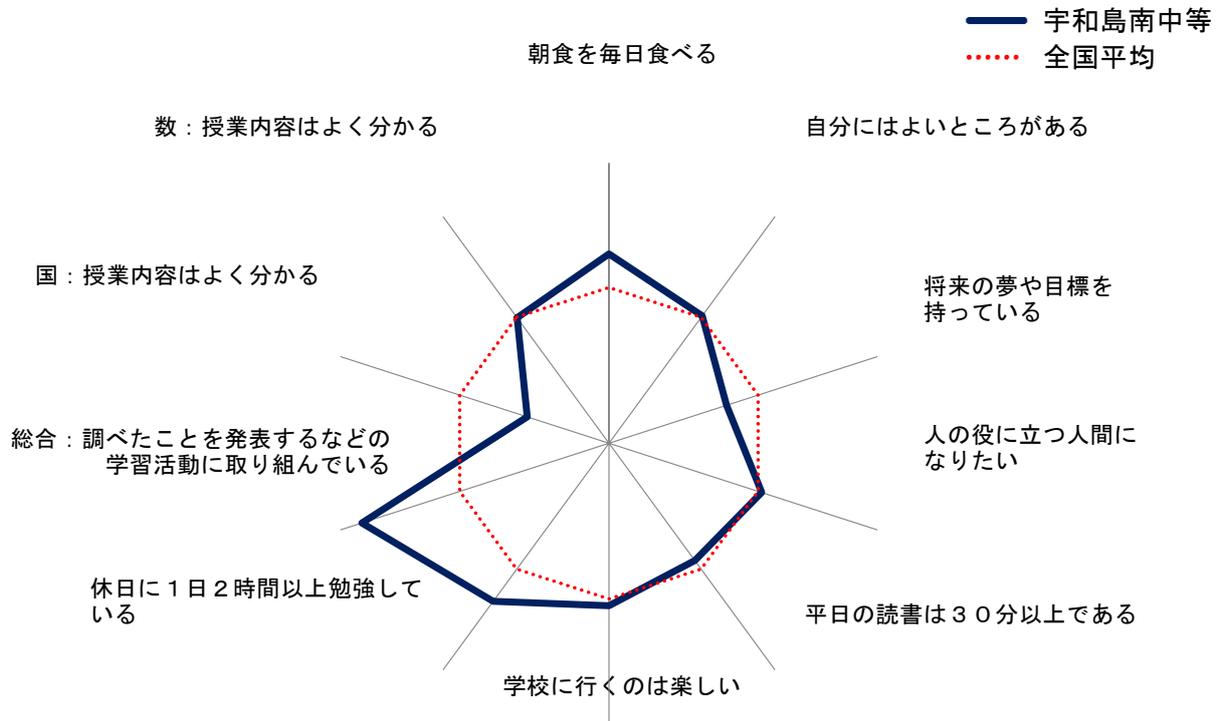
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】

— 宇和島南中等
..... 全国平均



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

【国語】正答率は、全ての観点において全国平均を上回っており、標準以上の学力は身に付いていると考えられる。しかしながら、「国語の授業の内容はよく分かるか」という質問に対する肯定的な回答が全国平均を下回っている。回答を詳しく見ると、「どちらかというと分かる」は全国平均と同程度であるが、「よく分かる」が全国平均よりも低く、「どちらかというと分からない」が全国平均よりも高く、「分からない」は全国平均よりも低くなっている。授業において目標とする到達点と学年全体を見たときの生徒の理解度にずれがあると言える。生徒の実態に合わせて適切な到達目標を設定し、全ての生徒が分かる授業を目指したい。

【数学】全分類、全設問とも正答率が全国平均を上回っているが、「図形」の問題の正答率は50%程度で他分類と比較して低く、全国平均との差も小さい。また、全体を通して、「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が約46%であり、「知識・技能」を問う問題の正答率約72%と比較すると低い。問題の中から必要な情報を取り出し、答えを導き出すための道筋を立てたり、数学的な表現を用いて説明したりすることが苦手な生徒が多いことがうかがえる。授業の中で、様々な視点での捉え方や考え方を共有し、理解を深められる活動を積極的に取り入れていきたい。

【理科】全領域・観点で平均正答率が全国平均・県平均を上回っている。特に「粒子」と「生命」の領域では、全国平均・県平均を10ポイント以上上回っている。このことから、日頃からICTを活用し、授業内容の復習を行っている成果が表れていると考えられる。観点別では、「思考・判断・表現」に関する問題の正答率は高いが、「知識・技能」に関する問題の正答率は他の項目に比べてやや低く、全国平均との差が小さくなっている。また、日常生活に関連付けた問題の正答率が低くなっているため、今後は理科で学習した内容が日常生活の中でどのように役立っているのかということの日頃から意識できるように授業づくりに努めていきたい。

【生徒質問紙】朝食の摂取や休日の学習時間（2時間以上）等の質問で、全国の数値を上回っており、おおむね規則正しい生活習慣が確立できていると思われる。「将来の夢や目標を持っている」の質問では、全国平均より肯定的な回答がやや低い傾向にある。これは、中等教育学校において高校入試がないため、現実的な進路選択が問われないことも影響していると思われるが、今後、職場体験や進路指導をさらに充実させることで生徒の望ましい勤労観・職業観を育成したい。総合的な学習の時間では、自ら課題を設定し、調べたことを発表する活動が活発に行われている様子がうかがわれる。引き続き、課題発見・解決型の活動を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを推進していきたい。なお、国語・数学・理科においては、すべての項目について平均正答率が全国より高くなっている一方で、「授業内容が分かる」という質問に肯定的な回答が少ない教科もあるため、ICTも活用しながら分かる授業の工夫・改善に取り組むたい。